




令和3年12月15日発行
第9号
岡山市教育委員会
生涯学習課公民館振興室
(岡山市北区幸町10-16,
234-6015)
公民館振興室HP 

買い物で地域と未来を幸せに！～エシカル講演会～ オンラインで18の公民館をつないで開催

10月24日(日)、岡山市消費生活センターと共催して、「エシカル講演会」を市内18の公民館で同時に開催しました。コロナ禍での開催ということで、講師の加渡いづみ先生(四国大学短期大学部教授)は徳島からオンラインでの講演となりました。参加者は18の公民館のそれぞれの会場で受講し、合計で約280人の参加申込がありました。

加渡先生から「エシカル消費で見つける“新しい日常”～買い物で地域と未来を幸せに！」と題した講演がありました。エシカル消費とは地域の生活や環境の持続可能性を考えた消費スタイルのことです。大切にしたい三つの視点は①環境を守り、未来につなげることに役立つ消費、②働く人の権利や幸せを思いやる消費、③地域を元気にする消費。「買物」は投票と同じように社会を変える力があることなどを学びました。



東公民館会場の様子

＜参加者の感想＞

- ・遠くまででかけなくても講演が聞いてよかった
- ・若い人たちはオンライン授業等うけてすごいなあと感じていたが身近で体験できて嬉しかった
- ・エシカル消費の視点で購入行動につなげたい
- ・私たちの買物がいかに世界や未来をかえるかということがよくわかった

「第44回御津公民館まつり・獅子舞フェスタ」 地域の若者たちが大活躍

11月6日(土)、7日(日)、御津公民館で「第44回御津公民館まつり・獅子舞フェスタ」を開催しました。感染症対策をとりながらの開催でしたが、晴天にも恵まれ大勢の方に楽しんでいただくことができました。

展示作品も力作ぞろいで見ごたえ十分、ステージ発表では観客から大きな声援が送られました。出店も大賑わいで売り切れ続出になりました。

「獅子舞フェスタ」では、御津獅子舞継承活動実行委員会が、獅子舞の体験会や有志による獅子舞の演舞などを熱演しました。地元の秋祭りが中止になり、地域の身近な獅子舞に触れる唯一の機会でした。



そして、今年は何んといっても子どもたち、そして若者が躍動した祭りとなりました。地域の学校園すべてが参加して、展示やステージ発表はもちろん、工作や科学実験、缶バッチづくりなどのワークショップを連日開催し、大好評でした。地域みんなが元気になれる笑顔あふれる祭りとなりました。

公民館の実践紹介⑱ 操山公民館

市民のみなさんの思いを形に ～琉球三味線コンサート&聖火リレーのトーチ展示～

はじめに

操山公民館は交通の便もよく学校園や商業施設、病院も多い市街地に立地しており、引越されてくる方も多く、マンション等も増えていますが、住民同士の交流は希薄になりがちです。

公民館では、あらゆる年代層が集い学び、住民自治をすすめ、活動し合う地域の拠点となることをめざし、さまざまな事業に取り組んでいます。

地域の皆さんの交流の場づくり

開館4年目の当館では、地域の人同士顔見知りになり交流することを目的に、誰でも参加できるサロンの活動「みさおやまふれあいカフェ」をボランティアの皆さんと共に運営しています。コロナ禍で飲食が難しくなりましたが、気軽に集えるおはなし会や、脳トレクイズ、音楽鑑賞など毎月テーマを決めて行っています。

当公民館の運営委員会で「ふれあいカフェ」の報告をしたところ、ある委員さんから「三味線の上手な中学生が近くに住んでいる」と情報提供がありました。やはり、地域の情報は地域の人に尋ねるのが一番です。

コロナ禍での努力と工夫

その中学生との出会いを足掛かりに岡山学芸館清秀中学校・高等部の琉球三味線部へ演奏を依頼したところ、顧問の先生に快諾いただきましたが、コロナ禍で唄が歌えないという条件でのお願いとなってしまいました。琉球民謡は唄や掛け声が三味線演奏と一体となったもので、良いパフォーマンスを披露するには唄や掛け声が不可欠となるため部内ではあきらめの声も出ましたが、職員から感染対策の範囲内でできることをと提案したところ、事前に唄や掛け声を録音したものに合わせて当日三味線演奏をすることとなりました。生徒の皆さんや先生方の努力がありがたかったです。



琉球三味線コンサート

若者のパワーに感動のひととき

7月17日のコンサート当日は20代から80代

まで47人が沖縄の音楽に酔いしれました。部員5名で古くから伝わる琉球民謡や最近の流行歌までアンコール付きで計11曲披露してくれました。部長さんの曲にまつわるエピソードや解説があり沖縄の文化や部活動の様子を知ることができました。「生徒さんが一生懸命演奏される姿に感動、元気をもらいました」「行きたくても今はいけない沖縄を満喫できました」「生徒のみなさんの日々の努力にエールを送ります」「生徒さんの中に自分が学童支援員をしていた時にお世話をした人がいて、成長した姿を拝見しうれしくて涙が出た」などの感想が聞けました。地域の人同士、世代を超えたすばらしい心の交流ができたのではと感じました。

聖火リレートーチの展示

今年の夏には宇野学区在住のOさんから「この度の東京2020オリンピック聖火リレーに参加したので、使用した自分のトーチや関連グッズを「地域の方々が集う公民館に展示し、オリンピックを身近に感じていただきたい



聖火トーチの展示

い」とお申し出をいただきました。ぜひ飾らせていただきたいと思いましたが、当公民館にはトーチを飾る展示ケースがありません。市役所の関連機関に方々尋ね、以前岡山シティミュージアムに勤務されていた職員から「貸してもらえるケースがあるかも」という貴重な情報をいただきました。そこでシティミュージアムに問い合わせたところ、ちょうどいいサイズのものが借りられることになりました。トーチだけでなくリレーのユニフォームと靴やタオル、記念写真、記念切手やマスコット、のぼりなどを夏休み期間中展示しました。

また、公民館で主催講座をしている時にOさんに立ち会っていただき、来館の皆さんと交流しました。トーチの構造やリレーの様子など質問を受けたり記念写真を撮ったり、普段出会わない人同士、和やかに談笑される姿を見ることができました。

これからも公民館の存在を多くの方に知っていただき、地域の皆さんの夢や希望に寄り添う公民館でありたいと思っています。

公民館の実践紹介⑱ **旭東公民館**

一人ひとりが輝くチャンス 公民館で地域デビュー

～主催講座「ハッピー☆子育て」をとおして～

はじめに

旭東中学校区は人口 27,632 人、12,240 世帯の地域で（令和3年7月現在）、古都、可知、芥子山の3つの小学校区があります。市中心部に程近く、利便性の高い地域でありながら、芥子山（標高 233m）や百間川など豊かな自然環境が残っています。公民館が立地する芥子山小学校区は 15 歳未満の人口が 1,999 人と東区で最も多く、子育て世代が多い地域です。

主催講座「ハッピー☆子育て」は、乳幼児を子育て中の親の仲間づくりと癒しの場づくりを目的として令和元年度に開講した託児付き講座で、年9回実施しています。3学区の親子クラブとそのOGが企画に関わり、3学区の愛育委員が輪番で託児スタッフを担っています。子育て中の親が子どもと離れ、集中して学び体験できる場であり、コロナ禍においては5～10人程度の参加があります。



▲託児の様子

1つの新聞記事がきっかけ

令和3年度、旭東公民館では防災に重点を置き、9月の防災月間を中心に防災に関する事業を展開しています。9月の「ハッピー☆子育て」講座の具体的な内容を考えていた頃、地域で活動する「益野女性防火クラブ」の新聞記事が目にとまりました。災害用非常食レシピの普及に力を入れているという記事で、9月の内容に最適と考え、早速会長に講師を依頼しました。現会長は令和2年度にこの組織を引継ぎ、活動を始めようとした矢先に新型コロナウイルス感染拡大が続き、講師をするのも初めてで慣れていないとのことでした。しかし、公民館は自分の特技や知識を人に教えることで新たな出会いや学びがあり、講師役として地域デビューできる場であると伝えたとこ、快く引き受けてくださいました。自分たちだけでは講座運営が難しいと、東消防署可知出張所に応援を依頼するなど、意欲的に取り組んでくださいました。打合せの末、非常食レシピ紹介の他に、防災DVD視聴と講話、VR（バーチャルリアリティ）火災体験という充実した学習内容に決まりました（※緊急事態宣言発令のため9月14日を延期し、12月11日に実施予定）。

特技や知識を生かして地域で活躍

「ハッピー☆子育て」講座のある日、参加者の1人が素敵なイヤリングを身に付けていました。そのイヤリングが自作だと知った他の参加者たちが「ぜひ作り方を教えてほしい」とその場が盛り上がりました。その方は趣味で作る程度で人に教えたことはなかったそうですが、良いチャンスをいただいたと、「手作りイヤリング」の講座を実施することになりました（令和4年1月実施予定）。

別のある日、「ハッピー☆子育て」講座の参加者が「ピラティスの先生が見つかったからやってみよう」と公民館窓口に来られました。子どもが同じ幼稚園に通うお母さんの中にピラティスの講師がいるので「ハッピー☆子育て」講座で実施してほしいという提案でした。その方の紹介で講師と出会い、早速ピラティス体験会を10月12日に実施しました。

新しいクラブ講座の誕生

更に、このことがきっかけで住民が主体的に運営するクラブ講座が新しく立ち上がりました。このピラティス講師は県外からの転入者で、ちょうど活躍の場を探していたそうです。講師を紹介してくださった方がクラブ代表者になり、クラブ講座「はじめてのピラティス」は令和3年5月から活動しています。今、高齢化とコロナの影響でクラブ講座の数が減少傾向にあります。そのような状況の中、子育て世代が集まる講座の新設は、公民館としても嬉しい限りです。



▲ピラティス体験会の様子

出会いがつながり、活動が広がる

公民館は、誰もが出会い、つながり、活躍できる地域デビューの場です。住民の「一緒に楽しく学び、活動したい」という思いを実現できる場も公民館です。地域には様々な特技や知識を持つ人材がまだまだたくさんいると思います。地域情報にアンテナを張り、人材発掘に努め、一人ひとりの声を大切にしながら住民の活動を支援していきたいと思っています。

岡輝公民館

高校生が高齢者にスマホを指導

10月16日(土)、岡輝公民館で「高校生が教えるLINE教室」を開催しました。

スマートフォンを持つ高齢者は増えており、遠くにいる子や孫とやり取りしたいという要望を受けて、公民館が岡山南高校のコンピュータ部に講師役を依頼しました。高校生たちは夏から準備をすすめ、当日は実際にスマートフォンでアプリを操作しながら、やり取りしたい相手の登録方法をはじめ、メッセージや画像の送り

方を教えました。

参加者は熱心に受講し、「一生懸命教えてくれた」「こんな講座にまた参加したい」という

感想がありました。高校生たちは、実際にやってみると計画では思いもよらなかったことがあり、次回へ活かしていきたいと話しています。



第5回漱石フォーラム 夏目漱石を知る～漱石と漢文～

主催/漱石フォーラム実行委員会
岡山市立上南公民館

10月10日(日)に、第5回漱石フォーラムが漱石ロード小泉醤油店蔵で開催されました。明治25年夏、東京帝国大学の学生であった夏目金之助が岡山に約1か月滞在。目的は旧上道郡金田村の医師岸本昌平と再婚する義姉小勝(かつ)に夏目家を代表してお祝いを届けることでした。小勝

は次兄栄之助と結婚し、兄の死後岡山に帰り岸本家に嫁ぎました。金之助は金田村で数日間歓待を受けたことが伝えられています。この足跡を残そうと平成28年に第1回漱石フォーラムを開催し、今年で第5回目となります。

今回は「夏目漱石を知る～漱石と漢文～」をテーマに岡山大学名誉教授森熊男先生の「夏目漱石と漢文『論語』」の講演、漱石ゆかりの食材を中心とする漱石マルシェやバンド演奏もありました。

森先生は多くの漱石作品を紹介され作品の背景に『論語』があることをわかりやすく話されました。上南の田園地帯に定着した漱石フォーラムは公民館主催行事から地域の大切な恒例イベントとして発展しています。



醤油蔵ホール



漱石君パネル(愛称)と森熊男先生



松村前館長による漱石ロード案内



会場前の様子



リリーバンド熱演